めろん

No.188

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭　MAFGA インターンを終えて (ｻﾞﾝ・ﾃｨ・ﾁｬﾑ・ｱｲﾝ) …… 1
報告　外国人市民への保健・医療サポートセミナー 2022 …… 3
短信　最近の事務局より …… 4
カレンダー　2023 年 5 月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
お知らせ　協会・他団体からのお知らせ …… 6
編集後記　編集後記 …… 8

2022 年度インターン活動報告
MAFGA インターンを終えて (ヂン・ティ・チャム・アイン)

協会では、毎年インターン生を受け入れている。今年度も、センターでの来客対応や事務作業、外国にルーツのある子どもたちのサポート活動、カフェを使った交流イベントの企画実施などを担うインターン生を 2 名募集する（5 月 8 日〆切）。もちろん、国籍、年齢、性別は問わない。今までにも、多様なルーツをもち、協会以外でさまざまな経験をしてきたインターン生が活躍してきた。今号では、2022 年度インターン生のヂン ・ティ・チャム・アインさんから寄せられた活動報告を紹介する。

私の MAFGA でのインターンシップが終わりを迎えた。時間があっという間に過ぎて、この 1 年間携わった様々な活動を振り返ると、懐かしい気持ちがいっぱいだ。

私がインターン期間中に地域相談チームのメンバーとして深く関わることができたのは、地域交流事業と相談事業だった。

地域交流事業に関しては、地域市民の異文化理解促進を目的とする様々なイベントの開催に携わった。まず、MAFGA の最も大きなイベントである多民族フェスティバルにステージ運営側として参加した。「世界のファッションショー」では皆と共にスリランカ、ベトナム、タイ、ウイグル民族など 10 の伝統的な民族衣装を紹介できた。嬉しいことに、この写真は箕面市のもみじだよりの表紙に載せられた。

また、ベトナムの文化を紹介する「ベトナムデイ」と「ベトナムのお正月テトを楽しもう」という 2 つのイベントの開催にも貢献できた。どちらもベトナム人市民の協力のおかげで無事に行うことができ、多くの人を引きつけた。色々な人がイベントを楽しむところを見ると主催者側として達成感に満ち溢れる一方、ベトナム人として母国の文化が積極的に受け入

多民族フェスでのひとこま。
左がヂン ・ティ・チャム・アインさん

発行・差出人 : 公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）
〒 562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内
Tel：072-727-6912　Fax：072-727-6920　E-mail：info@mafga.or.jp　HP：www.mafga.or.jp
賛助会員数：322 名　法人会員数：26 団体（2023 年 4 月 20 日現在）

れられているため、その場に来ている日本人との距離がなんとなく縮まっていると感じた。「受け入れられる」ことは、口に出さなくても誰でも、特に外国で生活している外国人が求めていることだと私は考える。

生活相談業務では、ベトナム語の通訳・翻訳を行った。私が行ったのは通訳・翻訳のみであったが、相談者の悩み解決に少しでも役に立てたのなら嬉しい。残業代の不払いなど不当な扱いに遭った外国人労働者の中には、一人でずっと我慢したり、会社から逃げて不法残留となったりする人が多く報告されている。その中で、困っているベトナム人労働者が MAFGA へ相談に来て、一緒に解決策を考えてくれることは相談を受ける側としてありがたいことだと感じる。

現在日本は、多様な民族・文化を有する人が暮らしている。彼らは、様々な理由・目的で来日し、それぞれが異なる悩みやニーズを持っている。政府の支援政策があっても、一人ひとりに寄り添うことが非常に難しく、多言語相談等の活動を通じてサポートできる MAFGA のような組織は重要な役割を果たしていると考えられる。また、「テト」や「どっぷりスリランカ」などイベントを開催することで、皆が異文化を体験しながら楽しい時間を過ごせることはもちろん、そのような国と文化に対して地域の人々の関心・好感度が上がると期待できるだろう。国と文化への好感を抱くと、その国出身の人に対して皆がより寛容な態度を取りやすい。さらに、周りの偏見と誤解に対して「いいえ、それは違う」とか「その習慣は〇〇の考えに基づいているからだよ」などと声を上げられるようになるだろう。それは小さな行動だが、多文化共生社会の形成につながる重要な一歩だと考える。

どの国にも一長一短があると 7 年間外国で暮らしている私はよく認識している。ベトナムでも日本でも同じだ。しかし、MAFGA での 1 年間のインターンシップを通して職員やボランティア、イベントの参加者など MAFGA に関わる様々な方々に出会い、話した経験から、お互いの敬意と尊重を礎にした多文化共生社会が日本でいつか実現できると自信を持って考えられるようになった。社会問題の解決は本当に難しいが、皆の協力があれば必ずできると確信している。

MAFGA で得られた様々な体験と貴重な人間関係を大切にしながら前に進みたいと思っている。この 1 年間本当にありがとうございました！また皆様と MAFGA で会えるのを楽しみにしています。

今年度のインターン応募はこちらから！
（5 月 8 日応募書類必着）

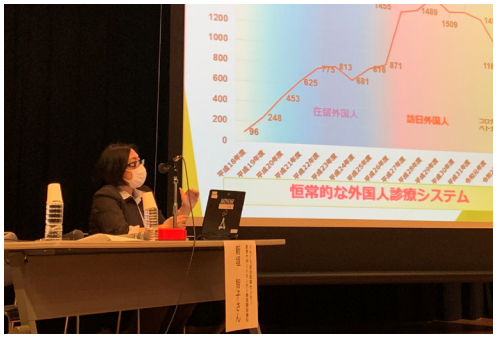
3/16 韓国・華城（ファソン）市役所から 7 名の視察団が来館

多文化交流センターにはいろいろな団体や人が視察に来ているが、3 月 16 日、華城市役所の福祉局のチョン・グソン局長と女性多文化課のパク・ノヨン課長をはじめとする職員 7 名が来館した。華城市はソウルから南へ車で 1 時間ほどのところにある人口 90 万人をようする都市で、韓国でも特に人口増加が激しい地域だ。そのうち約 5% が外国籍者で、大企業の工場などで働く人が多いという。視察では、協会から外国人市民の地域参加と地域づくりを中心に取り組みを紹介。参加者からは「福祉施策としてはどのようなものがあるか」など活発な質問が飛び交った。韓国には多文化家族支援法など外国人の権利保護のための制度があるが、公的な制度以外でも「大企業などが在住外国人支援のために寄附や資金提供をおこなって取り組みがおこなわれいてる」との話が印象的だった。（河合）

地域発！外国人医療を考える

【報告】外国人市民への保健・医療サポートセミナー 2022

日　時：2023 年 2 月 16 日 (木)14:00 ～ 16:00
場　所：箕面市立病院リハビリ棟 4F いろはホール
参加者：70 名



箕面市には医療事務連絡会という、外国人医療に携わる関係機関を横につなぐ、全国的にも先進的な取り組みがある。地域の外国人医療を押し上げることを目的とし、年間 5 回程度の情報交換の場所を持ち、年に一度合同セミナーを企画実施してきた。2023 年 2 月 16 日 (木) には「文化の違いに寄り添えるケアとは？～だれもが安心できる保健・医療をめざして～」と題して「外国人市民への保健・医療サポートセミナー 2022」が開催された。

前半の基調講演では、りんくう総合医療センター　患者サポートセンター兼国際診療科で看護師を務める新垣智子さんより、センター 20 年の歩みを伺った。2006 年に国際外来が開設され、2012 年からは国際診療科として拡張し、言語の壁だけでなく、様々な文化や制度の壁を認識して、医療チームで問題解決をする必要があると早くから取り組んできた。病院幹部、診療科の医師とも協力して、院外・院内両方でネットワークを強化した結果、医療者も、通訳者も、そして患者も安心して利用できる医療施設へと変遷していったことを知ることができた。

左から　市立病院小児科医師 長谷川泰浩さん、
市消防本部 田野博康さん、医療ﾈｯﾄ 中村智子さん、
文化国際室長（当時）小林和幸さん

その後のパネルディスカッションでは、協会がコーディネーターを務め、箕面市で外国人医療に携わる、市立病院、市消防本部、文化国際室、みのお外国人医療サポートネット（医療ネット）からそれぞれパネリストが登壇し、箕面での外国人医療の現状と今後の展望について話された。今後どのような連携体制、財政支援の仕組みを作るのか、新たな局面に来ていることを知る貴重な機会となった。

日々、協会で外国人市民から相談を受け、また医療機関に同行したことのある経験から、日本語が流暢な人でも、日本の医療制度を理解し、実際に使うには、想像以上に大きな壁があると感じている。医療が必要な場合、市立病院等の基幹病院の利用や救急車を呼ぶことは稀で、まずは身近な個人医院を受診することが多いため、地域のクリニックとの連携と啓発の必要性を感じている。以前、医院に問合せた際に、「日本語が分かる人を連れてこなければ診ることができません」と、電話口で言われた経験がある。限られた資源の中で、どのような連携体制が取れるのか。まだまだ課題は多いが、アフターコロナを見据えた新しい展開を皆で模索していきたい。（末原）

りんくう総合医療センターの取り組みは、ホームページをご覧ください
http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/department/international1/

最近の事務局より（短信）

2023 年 3 月、4 月はテレビ取材が 2 件あった。3 月 7 日は NHK の大阪ローカル番組「ほっと関西」でコムカフェが、4 月は毎日、J:COM 北摂の「長っと散歩」という 23 分の番組で、上島一彦箕面市長に「箕面市立多文化交流センター」の魅力をあれこれ紹介していただいた。テレビの取材は自らの事業を省みる機会になるし、放映後はやはり新しい来館者が増えるのでありがたい。

見逃した方は以下のリンクからたどれます。

★　NHK 大阪放送局　3 月 7 日（火）放送　「ほっと関西」
https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20230307/2000071652.html

★　J:COM チャンネル　4 月放送　「長っと散歩」
https://c.myjcom.jp/jch/west_01/regular/cho_sanpo_hokusetsu.html

※　後日、YouTube の「J:COM チャンネル 関西」チャンネルに動画がアップロードされる予定。

NHK「ほっと関西」

J:COM「長っと散歩」

職員研修のようす。ミーティングルームを使い、各スタッフがプレゼンをおこなった。

年度末から年度はじめにかけては、事務局は非常にバタバタする毎日だが、4 月 5 日（水）には恒例の職員研修を一日かけておこなった。文書管理の大切さ、年間の事業計画、新駅開業にともなう今後の戦略について管理職の面々が説明したほか、各担当者が他の職員と共有したいことを 20 分ずつ紹介。最後の 1 時間は少人数で「2023 年度に大切にしたいこと」をテーマに話し合ったところ、「職員同士のコミュニケーションの大切さ」や「組織の無駄に気付いて減らす」など、いくつも同じ声がきかれた。

5 月 11 日で「箕面市立多文化交流センター」は開館 10 周年。13 日（土）には記念企画や屋台コーナーを準備中である。慌ただしさに流されることなく、私たちが日々出会う一人ひとりとしっかり向き合い、皆さんの期待に恥じぬ仕事ができているか。改めて肝に銘じる日々である。（岩城）

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科
おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00～12:00	○	○	○	／	○	○
pm1:00～3:00（胃カメラ）	□	□	□	／	□	／
pm5:00～7:30	／	／	○	／	／	／

※診療開始 30 分前から受付します。
■胃カメラは予約制です（□ 印）
■休診日：月・火・金・土曜午後、木曜、日祝日
■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/
【住所】562-0023
箕面市粟生間谷西3丁目7－9シャトー野間1F
阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い
Ⓟ無料駐車場 有
072－730－0721

fairtrade shop & cafe
エスペーロ
能勢
espero nose
フェアトレード雑貨と古民家カフェ
豊能郡能勢町地黄 476
営業時間：金～月 11:00 ～ 17:00
http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口

電話　072-727-6912
（日本語・英語）
メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。
日時：火曜日から日曜日　9:00~17:00
受付方法：来館、メール、電話
対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語
場所：箕面市立多文化交流センター

5月 May　comm cafe コム カフェ　comm cafe ランチカレンダー

火・木～土

9:30 - 11:30 朝カフェ
11:30 - 14:00 ランチ　￥950　＊売り切れ次第終了
14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日

＊ランチはありません

10:00 - 13:00 世界の朝ごはん　￥770（ドリンク付！）

イベント

5月27日(土)18:00～「分断を乗り越えるチャリティコンサート」

ヴィオラ吉田馨さん、ハープ野田千晶さんをお迎えし、音楽で世界を巡ります。トルコの軽食（チキンのトマト煮込み、ご飯、サラダ）つき。一般 3,500 円、賛助会員および 22 歳以下 2,500 円（食事代込み）。申込みは電話 (072-727-6912) もしくはメール (info@mafga.or.jp) から。

おしらせ　5 月 13 日（土）10 周年祭！

＜屋台メニュー＞
ルーパさん の グリンピースとカッテージチーズのカレー
ティーさん の ベトナム・フォー
ノックさん の ヤムウンセン（タイの春雨サラダ）
チーム・シカモ の ブルコギバーガー＆ベイクドポテト
フランクリンさん の バンプディング、ココナッツミルクプリン
その他にもいろいろもろもろ、お楽しみに。

＜物販＞
みのおフェアトレードの会 " 楓 "…世界中の国と地域から FT 品をお届け
架け箸…中東パレスチナの木製品と布雑貨
Ejaad（エジャード）…アフガン女性による手刺繍作品の展示販売
Fadas（ファーダス）…ポルトガル語で妖精。ときおり地域に現れる手作り小物のお店

ス… スナック＆スウィーツの日　イ… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
1 休館日	2 ルーパさん ≪インド≫	3 ［祝］ ス MAFGA スナック	4 ［祝］ ス MAFGA スナック	5 ［祝］ ス MAFGA スナック	6 ス MAFGA スナック	7 ス MAFGA スナック
8 休館日	9 コブさん ≪タイ≫	10 店休日	11 フランクリンさん ≪キューバ≫	12 ス MAFGA スナック	13 イ コムカフェ＆センター １０周年祭 11:00 ～ 15:00	14 世界の朝ごはん ≪トルコ≫ 10:00 ～ 13:00
15 休館日	16 ホーさん ≪香港≫	17 店休日	18 ノックさん ≪タイ≫	19 ジェニーさん ≪シリア＆アルメニア≫	20 オリガさん ≪ベラルーシ≫	21 世界の朝ごはん ≪ベトナム≫ 10:00 ～ 13:00
22 休館日	23 チャレンジカフェ！ ファルザナさん ≪バングラディシュ≫	24 店休日	25 フランクリンさん ≪キューバ≫	26 洪さん ≪コリア≫	27 ティーさん ≪ベトナム≫ イ 18:00～ チャリティーコンサート	28 世界の朝ごはん ≪ベラルーシ≫ 10:00 ～ 13:00
29 休館日	30 ノックさん ≪タイ≫	31 店休日	**5/13（土）はコムカフェ＆センターの 10 周年祭。日頃お世話になっている、みなさまに感謝の意を込めて、お手頃価格で屋台メニューをお届けします。フェアトレード品などの物販も！どうぞお楽しみに～！！**			

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe

国際交流協会（MAFGA）からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは（公財）箕面市国際交流協会まで　※開催場所：箕面市立多文化交流センター

☎：072-727-6912　FAX：072-727-6920　✉：info@mafga.or.jp

イベント情報

最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

セミナー
5/24(水)
① 10:30-12:00
② 13:30-15:00

キューズモール× comm cafe 食でつながる このひと、この世界

地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに試食や試飲を交えながら、文化や経験を紹介します。今回は「私のふるさと慶州の食生活」。手づくりのチヂミ「チョン」を味わいながら、韓国の古都を散策するような気持ちで交流しましょう。

◎　金　姫廷（韓国出身）　コーディネーター：崔　聖子

定　員：各 5 名（要申込）
場　所：みのおキューズモール CENTER-2F キューズリビング
参加費：550 円
QR コードから お申込みください

セミナー
5/25(木)
14:00-15:00

就職支援セミナー@大阪大学箕面キャンパス

「ひとこま」を開催しているスペースにて不定期開催中。就職に関することなら、なんでも気軽に相談可（要申込み）。

今回のテーマは「日本語での面接攻略、模擬面接」。次回は、6 月 22 日（木）「日本の職場マナー、日本生活の豆知識」をテーマに開催予定。

場　所：大阪大学箕面キャンパス 3F ピロティ
参加費：無料
QR コードから お申込みください

語学講座
5/27(土)
6/24(土)
7/22(土)
17:00-18:00

からだでみにつく！子ども英会話

サウジアラビアでダンスやスイミングのインストラクターとして活躍していたバヤンさんといっしょに、楽しい音楽に合わせて、みんなでからだを動かしながら英語を学びましょう！ 5 月 20 日（土）までに要申込み。申込み多数の場合は抽選（全日程参加できる方を優先）。

◎　バヤン・ジン・アル・アブディン（ダンスコーチ）

対　象：小学生
定　員：10 名
場　所：ミーティング室
料　金：3,000 円(3 回分)
QR コードから お申込みください

春の多文化ボランティアセミナー

前号（めろん No.187）でお知らせしていた内容より、参加費・内容を一部変更しました。会員・一般に関わらず、無料で受講いただけることとなりました。ぜひ、お誘いあわせのうえお越しください！

5/20（土）

【第 1 回】協会の取り組み紹介とオリエンテーション
14:00 ～ 16:00　『ちがいが織りなす“ 私たち” のコミュニティ』上映と感想交流会
16:00 ～ 17:00　ボランティア活動紹介、センターボランティアグループおよび市内国際交流団体によるブース出展
※ 16 時以降は自由参加となりますが、初めて国際交流協会でボランティアをする方は、ぜひご参加ください！

5/27（土）

【第 2 回】多文化まちづくり交流会
14:00 ～ 16:00　箕面市での多文化な街づくりを考える交流型ワークショップ
箕面市における地域国際化の現状と課題について事務局から共有したのち、テーマ別グループでの交流を行います。

定　員：40 名（要申込）
場　所：多文化交流センター 2 階講座室
参加費：無料　一時保育：あり（定員 3 名・各開催日の 7 日前までに要申込）

QR コードから お申込みください

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 40 年の歴史～

（公社）日本バレエ協会会員・ＡＯＤＴ会員

＊バレエコース：「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書（Dipolma）や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才～ 80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

＊健康コース：徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者（姿勢科学士）が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24　阪急牧落駅西側右斜め前（駅より 30M）
072−721−6300／721−2576　http://www.karaki-sachiko-ballet.com/

他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

講演会
5/4（木・祝）
14:00-16:00

みのおピースフェスタ 2023 講演会　平和のバトン～若者が語る核なき未来～

約 30 の団体と個人が参加する平和を願って開催するおまつり。今年は、3 年ぶりの開催。みんなで平和を考える一日にしましょう。
◎髙橋　悠太（KNOW NUKES TOKYO 代表）
同日 11:00 ～ 18:30、B1F 市民ギャラリーで展示も開催。

場　所：箕面文化・交流センター 8F 大会議室
参加費：500 円
主　催：みのおピースフェスタ 2023 実行委員会
問合せ：072-724-0188

スポーツ
毎月第 2 水曜日
5/10（水）
11:30-13:00

ランチタイム！阪大でボッチャしよう

パラリンピックでも話題になった 誰もが楽しめるヨーロッパ生まれのスポーツ、ボッチャをランチタイムに体験しませんか。
(学生・若者と地域がつながる居場所「ひとこま」企画)

場　所：大阪大学箕面キャンパス 3F ピロティ
参加費：無料
主催・申込み：箕面市国際交流協会
協　力：大阪大学外国語学部、箕面東コミュニティスポーツ（コミスポ）

みんぱく
5/14（日）
14:30-15:00

アマゾンの聖人祭―在来の伝統とキリスト教の融合

南米ボリビア・アマゾンのモホス地方には、在来の踊りや音楽を取り入れたカトリックの聖人祭が伝わっている。モホス地方の聖人祭の現状を紹介し、歴史を振り返る。
◎齋藤　晃（国立民族学博物館教授）

場　所：国立民族学博物館 本館展示場（ナビひろば）
参加費：無料（別途観覧券が必要）
主　催：国立民族学博物館
問合せ：06-6878-8210

講演会
5/18（木）
10:30-12:00

みのお中国文化に親しむ会　第 62 回講演会

「遣唐使・阿倍仲麻呂の生涯と唐漢詩人との交流」をテーマに、彼の漢詩と漢詩人との交流にスポットライトを当て、その鮮やかな生涯を語る。
◎白　雪梅（漢詩研究家、エッセイスト）
後援：箕面市国際交流協会

場　所：箕面市立中央生涯学習センター 2F 講義室
参加費：1,500 円（大学生以下 750 円）
主　催：みのお中国文化に親しむ会
申込・問合せ：市村 072-722-6234

講演会
5/18（木）
10:30-12:00

「こども基本法」「子ども家庭庁設置法」を読む

「子どもの権利条約」が批准されて 30 年。2023 年 4 月より、すべての子ども施策の基盤に「子どもの権利条約」を据えるとした「こども基本法」「こども家庭庁」がスタート。子どもの権利を保障するための政策の動向と課題について考える。◎田中　文子（公益社団法人子ども情報研究センター理事）

場　所：HRC ビル　5F ホール（大阪市港区波除 4-1-37）
参加費：1,000 円
主　催：世界人権宣言大阪連絡会議
問合せ：06-6581-8705
udhr@blhrri.org

公演
5/19（金）～5/21（日）

態変 40 周年 Presents 金滿里ソロ公演『寿ぎの宇宙』

身体障害者にしか演じられない身体表現を追究するパフォーマンスグループで、今年 40 周年を迎えた「劇団態変」が「態変」となってはじめての公演。東日本大震災を受けて創られた本作を、2017 年東京公演以来 6 年ぶりに再演。
5/19(金)19:00　5/20(土)14:00/19:00　5/21(土)14:00 の全 4 回。
40 周年記念公演は、10/27(金) ～ 29(日) @ ABC ホールで予定。

場　所：メタモルホール（大阪市東淀川区西淡路 1-15-15）
料　金：前売 3,500 円　当日 4,000 円
障害者・介助者　各 3,000 円
25 歳以下　2,500 円
主　催：態変 http://taihen.o.oo7.jp/
申込・問合せ：06-6320-0344

フォーラム
5/27（土）
13:30-16:30

在日コリアン人権フォーラム 2023 ～国連自由権規約委員会と民族的マイノリティの権利～

国連の自由権規約委員会は 2022 年 11 月、ヘイトスピーチや朝鮮学校の差別処遇問題など、基本的人権の保障に関わる勧告を盛り込んだ総括所見を公表した。本フォーラムでは国連自由権規約委員会に NGO レポートを提出し、日本政府の条約違反を訴えてきた団体を中心に、現状と課題について議論を深める。
◎郭　辰雄（NPO 法人コリア NGO センター代表理事）ほか

場　所：大阪市東成区民センター小ホール（大阪市東成区大今里西 3-2-17）
参加費：1,000 円（資料代として）
大学生・院生　500 円
障害者・高校生　無料
問合せ：NPO 法人コリア NGO センター 06-6711-7601

coupe de Minami　スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？

ボディに布を直接のせて服をつくってみましょう！（立体裁断）

南正枝　プロフィール（略歴）
昭和４２～４５年　フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得
昭和４５～４７年　カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和４７年以降　大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012　箕面市白島2-2-30　電話 / FAX　072（721）4151
E-mail　info@coupe-de-minami.com　URL　http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中！

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください！！編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めろん」をお読みいただきありがとうございます。「このテーマをもっと掘り下げてほしい！」「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めろんで取材にきませんか？」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集中！ info@mafga.or.jp までお寄せください。

編集後記

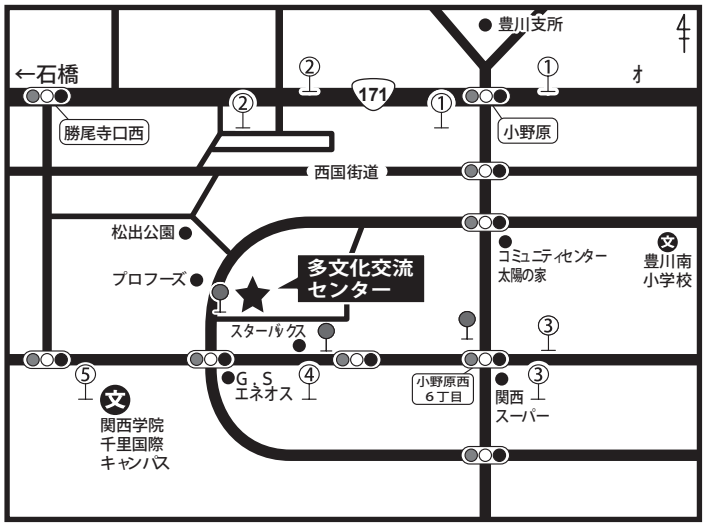
2月6日（月）におきたトルコ南東部とシリア北西部の地震。夫の実家も被災県にあり、多くの知人・親戚が被災した。被災地であるトルコ南東部は、「国境をもたない世界最大の民族」といわれるクルド人が多く暮らす地域だ。宗教的なマイノリティのアレウィー教徒も沢山暮らしている。シリア側は「宗教の貯蔵庫」とも呼ばれる地域で、さらに複雑だ。クルドのみならず、アラブやアルメニアなどさまざまな民族集団が、さまざまな信仰（イスラム教スンニ派・シーア派、ヌサイリー教（アラブのアレウィー）、シリア正教、アルメニア正教、ヤズディ―教など）をもちながら共存してきた。

世界第一位の難民受け入れ国でもあるトルコは、古くは湾岸戦争、その後のアフガニスタンの混乱を経て、IS の台頭によるシリア北西部からの避難民を積極的に受け入れてきた。（ただし、彼らへは在留許可はあっても仕事はない人が多く、ほとんどが生活困窮者である）。

今回の被災地にも多くの難民が暮らしているが、トルコ系住民との軋轢が高まっている。被災 3 県で復興プロジェクトに関わっている義弟によると、言葉の壁がある上に、圧倒的に足りていないトイレをめぐってのトラブル（テントのすぐ裏で用を足すなど）が多発しているという。多文化共生というと聞こえは良いが、トイレなど衛生観念の異なる人同士の共存が課題となっている。

現地の状況は非常に厳しいが、それでも地元の人たちを地道に巻き込みながら、震災からの復興をあきらめずに奔走している人たちは少なくない。引き続き現地の情報を収集しつつ、日本にいる人たちからの支援を効果的につなげられるよう息長くコーディネートしていきたい（そのためには何よりも資金が必要なので、協会窓口で受け付けている募金に協力いただければ幸甚です）。(岩城)

アクセスマップ



オレンジゆずるバス

- （平日・土曜）黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
- （日曜・祝日）緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m

※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出　発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、55、56 58、59、66	① 小野原
		② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西５丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から ＪＲ茨木方面から	92	① 小野原
		② 小野原西

「めろん」 編集スタッフ
【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷲尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグワ　ムンフバヤスガラン、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：（公財）箕面市国際交流協会　〒 562-0032 箕面市小野原西 5-2-36　多文化交流センター
Tel：072-727-6912　Fax：072-727-6920　E-mail：info@mafga.or.jp
HP：www.mafga.or.jp　FB：facebook.com/Mafga　みのお多言語ポータル：http://portal.mafga.or.jp/